

772
ダンプトラック

技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域の Cat® ディーラにお問い合わせください。

目次

仕様 . . . 2

エンジン – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V . . . 2
エンジン – 米国 EPA Tier 3/EU Stage IIIA または米国 EPA Tier 2/EU Stage II . . . 2
エアコン . . . 2
質量 – 概算値 . . . 2
運転仕様 . . . 2
トランスミッション – 米国 EPA Tier 4 Final . . . 2
トランスミッション – 米国 EPA Tier 3 および 2 相当 . . . 2
ファイナルドライブ . . . 2
ブレーキ . . . 3
ボディホイスト . . . 3
容量 – デュアルスロープ – 100% フィルファクター . . . 3
容量 – フラットフロア – フィルファクター 100 % . . . 3
容量 – 採石ボディ – 100% フィルファクター . . . 3
質量配分 – 概算値 . . . 3
サスペンション . . . 3
騒音 – Tier 4 Final/Stage V . . . 3
騒音 – Tier 2 および Tier 3 相当 . . . 3
整備交換時の容量 . . . 3
ステアリング . . . 3
タイヤ . . . 3
転倒時運転者保護構造 / 落下物保護構造（ROPS/FOPS） . . . 3
質量 / 積載質量計算 – Tier 4 Final/EU Stage V . . . 4
質量 / 積載質量計算 – Tier 3/Stage IIIA または Tier 2/Stage II . . . 6
寸法 . . . 8
リターダ性能 – Tier 4 Final/EU Stage V . . . 9
リターダ性能 – Tier 3/Stage IIIA または Tier 2/Stage II . . . 12
登坂能力 / 速度 / けん引力 – Tier 4 Final/EU Stage V . . . 15
登坂能力 / 速度 / けん引力 – Tier 3/Stage IIIA または Tier 2/Stage II . . . 16

標準およびオプション装備品 . . . 17
772 の環境に関する宣言 . . . 19

772 ダンプトラック仕様

エンジン – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V

エンジンモデル	CAT® C18	
定格エンジン回転数	1,700 rpm	
定格出力（グロス）– SAE J1995:2014	451 kW	605 hp
定格出力（ネット）– SAE J1349:2011	410 kW	550 hp
定格出力（ネット）– ISO 9249:2002	410 kW	550 hp
エンジン出力 – ISO 14396:2002	446 kW	598 hp
定格トルク（ネット）– SAE J1349:2011	3,012 N·m	2,221 lbf-ft
シリンダ数	6	
内径	145 mm	5.7 in
行程	183 mm	7.2 in
総行程容積（排気量）	18.1 L	1,105 in^3

- これらの定格出力は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が 1,700 rpm のときの値です。
- 表示されている定格出力は，エンジンにファン，エアインテイクシステム，排気システム，およびオルタネータが装備された状態で，フライホイール部で得られる出力です。
- 定格は、気温 25 °C（77 °F）、気圧計が 100 kPa（29.61 Hg）を示す、SAE J1995 の標準的な空気状態におけるものです。出力は、16 °C（60 °F）における API 比重が 35、LHV が 42,780 kJ/kg（18,390 BTU/lb）の燃料で、エンジンを 30 °C（86 °F）で使用した場合のものです。
- 3,000 m（9,843 ft）までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- 米国 EPA Tier 4 Final および EU Stage V の各排出ガス基準に適合。

エンジン – 米国 EPA Tier 3/EU Stage IIIA または 米国 EPA Tier 2/EU Stage II

エンジンモデル	CAT C18	
定格エンジン回転数	1,800 rpm	
定格出力（グロス）– SAE J1995:2014	446 kW	598 hp
定格出力（ネット）– SAE J1349:2011	415 kW	557 hp
定格出力（ネット）– ISO 9249:2002	421 kW	565 hp
定格出力（ネット）– 80/1269/EEC	421 kW	565 hp
エンジン出力 – ISO 14396:2002	435 kW	583 hp
定格トルク（ネット）– SAE J1349:2011	2,551 N·m	1,881 lbf-ft
シリンダ数	6	
内径	145 mm	5.7 in
行程	183 mm	7.2 in
総行程容積（排気量）	18.1 L	1,105 in^3

- これらの定格出力は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が 1,800 rpm のときの値です。
- 定格は、気温 25 °C（77 °F）、気圧計が 100 kPa（29.61 Hg）を示す、SAE J1995 の標準的な空気状態におけるものです。出力は、16 °C（60 °F）における API 比重が 35、LHV が 42,780 kJ/kg（18,390 BTU/lb）の燃料で、エンジンを 30 °C（86 °F）で使用した場合のものです。
- 3,000 m（9,843 ft）までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- ガス排出量は、米国 EPA Tier 3 および EU Stage IIIA または米国 EPA Tier 2 および EU Stage II の各基準に適合しています。

エアコンシステム

当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R1234yf を使用しています。ガスの識別情報については、機械のラベルを参照してください。

- R1234yf（地球温暖化係数 =0.501）を使用した場合、システムには 1.85kg（4.1 lb）の冷媒、つまり 0.001 メートルトン（0.001 トン）の CO_2 相当物が含まれます。

質量 – 概算値

目標車両総質量	82,100 kg	181,000 lb
シャーシ質量	26,863 kg	59,223 lb
ボディ質量	8,258 kg	18,205 lb

- 100 % の燃料残量、ホイスト、ボディマウンティンググループ、リムおよびタイヤを含むシャーシ質量。
- ボディ質量は標準デュアルスロープボディ（ライナなし）で、構成に応じて異なります。

運転仕様

公称ペイロードクラス（100 %）	46.8 メートルトン	51.6 トン
最大ペイロードクラス（110 %）	51.4 メートルトン	56.7 トン
最大許容ペイロード（120%）	56.1 メートルトン	61.9 トン
ボディ容量（SAE 2:1）*	31.2 m^3	40.8 yd^3
最高速度 – 積載時	79.1 km/h	49.2 mph
最高速度 – 積載時（ベトナム）**	59.0 km/h	36.6 mph

- 車両の最大総質量制限については、「Caterpillar 鉱業用トラックの 10-10-20 積載量に関する方針」をご参照ください。
- デュアルスロープボディ（ライナなし）の容量。

* ISO 6483:1980

** ベトナム仕様の場合、最高走行速度は 59 km/h に制限されます。

トランスミッション – 米国 EPA Tier 4 Final

前進 1 速	12.8 km/h	8.0 mph
前進 2 速	17.5 km/h	10.9 mph
前進 3 速	23.7 km/h	14.8 mph
前進 4 速	31.9 km/h	19.8 mph
前進 5 速	43.3 km/h	26.9 mph
前進 6 速	58.3 km/h	36.3 mph
前進 7 速	79.1 km/h	49.2 mph
後進	16.8 km/h	10.4 mph

- 最高走行速度は、21.00R33（E4）標準タイヤを使用した場合の値です。

トランスミッション – 米国 EPA Tier 3 および 2 相当

前進 1 速	12.8 km/h	7.9 mph
前進 2 速	17.4 km/h	10.8 mph
前進 3 速	23.7 km/h	14.7 mph
前進 4 速	31.8 km/h	19.8 mph
前進 5 速	43.1 km/h	26.8 mph
前進 6 速	58.2 km/h	36.1 mph
前進 7 速	78.9 km/h	49.0 mph
前進 7 速（ベトナム）*	59 km/h	36.6 mph
後進	16.9 km/h	10.4 mph

- 最高走行速度は、21.00R33（E4）標準タイヤを使用した場合の値です。

* ベトナム仕様の場合、最高走行速度は 59 km/h に制限されます。

ファイナルドライブ

ディファレンシャルレシオ	2.74:1
プラネタリレシオ	4.80:1
合計減速比率	13.14:1

ブレーキ

ブレーキ表面 – フロント	1,395 cm^2	216 in^2
ブレーキ表面 – リア	50,281 cm^2	7,794 in^2
ブレーキ基準	ISO 3450:2011	

- 目標機械総運転質量は 82,100 kg（181,000 lb）です。

ボディホイスト

ポンプ流量 – 高速アイドル時（Tier 4）	425 L/min	112 gal/min
ポンプ流量 – 高速アイドル時（Tier 3/2）	413 L/min	109 gal/min
リリーフバルブ設定 – 上げ	18,950 kPa	2,750 psi
リリーフバルブ設定 – 下げ	3,450 kPa	500 psi
ボディ上昇時間 – 高速アイドル時	8.0 秒	
ボディ下降時間 – フロート	10.0 秒	

容量 – デュアルスロープ – 100% フィルファクター

平積み	23.9 m^3	31.3 yd^3
山積み（SAE 2:1）	31.2 m^3	40.8 yd^3

容量 – フラットフロア – フィルファクター 100%

平積み	23.9 m^3	31.3 yd^3
山積み（SAE 2:1）	31.3 m^3	40.9 yd^3

容量 – 採石ボディ – 100% フィルファクター

平積み	23.7 m^3	31.0 yd^3
山積み（SAE 2:1）	31.0 m^3	40.6 yd^3

質量配分 – 概算値

フロントアクスル – 空車時	51.4%
フロントアクスル – 積車時	34.2%
リアアクスル – 空車時	48.6%
リアアクスル – 積車時	65.8%

サスペンション

無積載時から積載時までのシリンダストローク（フロント）	234 mm	9.2 in
無積載時から積載時までのシリンダストローク（リア）	149 mm	5.8 in
リアアクスルオシレーション	± 8.9°	

騒音 – Tier 4 Final/Stage V

オペレータ騒音レベル（ISO 6396:2008）	73 dB（A）
周囲騒音レベル（ISO 6395:2008）	114 dB（A）

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用に ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 80% にして行われました。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用に ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 80% にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。

騒音 – Tier 3 および Tier 2 相当

オペレータ騒音レベル（ISO 6396:2008）	75.5 dB（A）
周囲騒音レベル（ISO 6395:2008）	117.5 dB（A）

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用に ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 80% にして行われました。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用に ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 80% にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。

整備交換時の容量

燃料タンク	530 L	140.0 gal
冷却系統	125 L	33.0 gal
クランクケース	64 L	17.0 gal
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ	180 L	47.0 gal
ステアリングタンク	55 L	14.5 gal
ステアリングシステム（タンクを含む）	87 L	23.0 gal
ブレーキホイスト作動油タンク	145 L	38.0 gal
ブレーキホイストシステム	227 L	60.0 gal
トルクコンバータ / トランスミッションシステム	64 L	17.0 gal
尿素水（DEF、Diesel Exhaust Fluid）タンク（Tier 4/Stage IV のみ）	21 L	6.0 gal

ステアリング

ステアリング基準	ISO 5010:2019	
ステア角	40.5°	
旋回半径 – フロント	17.6 m	57.7 ft
旋回半径 – クリアランス直径	20.3 m	66.6 ft

タイヤ

標準タイヤ	21.00R33（E4）

- 772 トラックの生産能力は、特定の作業条件下では、標準またはオプションのタイヤの TKPH（TMPH）の能力限界を超えてしまうことがあります。したがって生産が制限される可能性があります。
- Caterpillar では、すべての作業条件を検討し、タイヤメーカーとご相談の上、適切なタイヤを選択することをお勧めします。

ROPS/FOPS

ROPS/FOPS 標準

- Caterpillar 製転倒時運転者保護構造（ROPS、Rollover Protective Structure）キャブは、運転席で ISO 3471:2008、トレーナシートで ISO 13459:2012 を満たしています。
- 落下物保護構造（FOPS、Falling Objects Protective Structure）は、運転席で ISO 3449:2005 Level II、トレーナシートで ISO 13459:2012 Level II を満たしています。

772 ダンプトラック仕様

質量 / 積載質量計算 – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V

フラットフロア						
コンフィギュレーション別の機械質量		**ボディ**	**ボディ + スチールライナ**	**ボディ + ラバーライナ**	**ラバーライナ（150 mm（5.9 in）サイドボード あり）**	**採石 スチールボディ**
フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm（in）	16/10/14 (0.62/0.39/0.55)	16/10/14 + 16/8/8 (0.62/0.39/0.55 + 0.62/0.31/0.31)	16/10/14 + 102/8/8 (0.62/0.39/0.55 + 4.01/0.31/0.31)		25/14/16 (0.98/0.55/0.62)
積載質量	m^3（yd^3）	31.3（41.0）	31.0（40.5）	29.7（38.9）	32.2（42.1）	31.1（40.6）
床の厚さ	mm（in）	16.0（0.63）	32.0（1.26）	102.0（4.0）	102.0（4.0）	25.0（1.0）
目標車両総質量	kg（lb）	82,100（180,999）	82,100（180,999）	82,100（180,999）	82,100（180,999）	82,100（180,999）
空のシャーシ質量	kg（lb）	26,852（59,199）	26,852（59,199）	26,852（59,199）	26,852（59,199）	26,852（59,199）
ボディシステム質量	kg（lb）	8,215（18,111）	11,450（25,243）	12,065（26,599）	12,420（27,381）	10,555（23,270）
無積載時機械質量	kg（lb）	35,067（77,309）	38,302（84,441）	38,917（85,797）	39,272（86,580）	37,407（82,468）
燃料タンクサイズ	L（gal）	530（140）	530（140）	530（140）	530（140）	530（140）
燃料タンク – 100% 充填	kg（lb）	445（981）	445（981）	445（981）	445（981）	445（981）
無積載時運転質量 **	kg（lb）	35,512（78,291）	38,747（85,422）	39,362（86,778）	39,717（87,561）	37,852（83,449）
目標ペイロード *	メートルトン（トン）	46.5（51.4）	43.4（47.8）	42.7（47.1）	42.4（46.7）	44.2（48.8）
10/10/20 ポリシー *						
目標ペイロード（100%）*	kg（lb）	46,588（102,709）	43,353（95,577）	42,738（94,221）	42,383（93,438）	44,248（97,550）
	メートルトン（トン）	46.5（51.4）	43.4（47.8）	42.7（47.0）	42.3（46.6）	44.2（48.7）
最大ペイロード（目標の 110%）*	kg（lb）	51,247（112,980）	43,353（95,577）	42,738（94,221）	42,383（93,438）	44,248（97,550）
	メートルトン（トン）	51.2（56.4）	47.7（52.6）	47.0（51.8）	46.6（51.4）	48.7（53.7）
ペイロードを超えないこと（目標の 120%）*	kg（lb）	55,906（123,251）	52,024（114,692）	51,286（113,065）	50,860（112,126）	53,098（117,060）
	メートルトン（トン）	55.9（61.6）	52.0（57.3）	51.3（56.5）	50.9（56.1）	53.0（58.4）

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。

** すべてのアタッチメントの質量を含みます。

無積載時シャーシ質量（燃料なし）。

サイドボード（オプション）

高さ		**容量追加**		**質量**		**最大（110%）マテリアルの密度 ****	
155 mm	6.0 in	2.5 m^3	3.4 yd^3	366 kg	806 lb	1,610 kg	2,710 lb

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。

** 採石ボディ別（90 % のボディ容積充填率）

注記 : 無積載時シャーシ質量（燃料なし）。

積載質量計算 : 定義
無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量
目標積載質量 = 目標の総機械質量 – 無積載時運転質量
最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10（110%）

質量 / 積載質量計算 – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V

		デュアルスロープ	
コンフィギュレーション別の機械質量		**ボディ**	**ボディ + スチールライナ**
フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm（in）	16/10/14（0.62/0.39/0.55）	16/10/14 + 16/8/8（0.62/0.39/0.55 + 0.62/0.31/0.31）
積載質量	m^3（yd^3）	31.2（40.8）	30.9（40.4）
床の厚さ	mm（in）	16.0（0.63）	32.0（1.26）
目標車両総質量	kg（lb）	82,100（180,999）	82,100（180,999）
空のシャーシ質量	kg（lb）	26,852（59,199）	26,852（59,199）
ボディシステム質量	kg（lb）	8,030（17,703）	11,025（24,306）
無積載時機械質量	kg（lb）	34,882（76,902）	37,877（83,504）
燃料タンクサイズ	L（gal）	530（140）	530（140）
燃料タンク – 100% 充填	kg（lb）	445（981）	445（981）
無積載時運転質量 **	kg（lb）	35,327（77,883）	38,322（84,486）
目標ペイロード *	メートルトン（トン）	46.8（51.6）	43.8（48.3）
10/10/20 ポリシー *			
目標ペイロード（100 %）	kg（lb）	46,773（103,117）	43,778（96,514）
	メートルトン（トン）	46.8（51.6）	43.8（48.3）
最大ペイロード（目標の 110%）*	kg（lb）	51,450（113,428）	48,156（106,165）
	メートルトン（トン）	51.5（56.8）	48.2（53.1）
ペイロードを超えないこと（目標の 120%）*	kg（lb）	56,128（123,740）	52,534（115,817）
	メートルトン（トン）	56.1（61.8）	52.5（57.9）

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。

** すべてのアタッチメントの質量を含みます。

無積載時シャーシ質量（燃料なし）。

サイドボード（オプション）

高さ		**容量追加**		**質量**		**最大（110%）マテリアルの密度 ****	
155 mm	6.0 in	2.5 m^3	3.4 yd^3	366 kg	806 lb	1,610 kg	3,549 lb

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。
** 採石ボディ別（90 % のボディ容積充填率）
注記 : 無積載時シャーシ質量（燃料なし）。

積載質量計算 : 定義
無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量
目標積載質量 = 目標の総機械質量 – 無積載時運転質量
最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10（110%）

772 ダンプトラック仕様

質量 / 積載質量計算 – 米国 EPA Tier 3/EU Stage IIIA または米国 EPA Tier 2/EU Stage II

		フラットフロア			
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし	ライナあり	ラバーライナ（155 mm（6 in）サイドボードあり）	採石ボディ
ベース : フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm（in）	16/10/14 (0.62/0.39/0.55)	16/10/14 (0.62/0.39/0.55)	16/10/14 (0.62/0.39/0.55)	25/14/16 (0.98/0.55/0.62)
ライナ : フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm（in）		16/8/8 (0.62/0.31/0.31)	102/0/0（4.0/0/0）	
ボディ容積	m^3（yd^3）	31.3（41）	31.3（41）	32.2（42.1）	31.1（40.6）
目標車両総質量	kg（lb）	82,100（181,000）	82,100（181,000）	82,100（181,000）	82,100（181,000）
空のシャーシ質量	kg（lb）	26,852（59,199）	26,852（59,199）	26,852（59,199）	26,852（59,199）
ボディシステム質量	kg（lb）	8,215（18,111）	11,450（25,243）	12,420（27,382）	10,555（23,270）
無積載時機械質量	kg（lb）	35,067（77,310）	38,302（84,442）	39,272（86,580）	37,407（82,469）
燃料タンクサイズ	L（gal）	530（140）	530（140）	530（140）	530（140）
燃料タンク – 100% 充填	kg（lb）	445（981）	445（981）	445（981）	445（981）
無積載時運転質量	kg（lb）	35,512（78,291）	38,747（85,423）	39,717（97,561）	37,852（83,450）
目標ペイロード（100%）*	kg（lb）	46,588（102,709）	43,353（95,577）	42,383（93,439）	44,248（97,551）
	メートルトン（トン）	46.6（51.4）	43.4（47.8）	42.4（46.7）	44.2（48.8）
最大積載量（目標値の 110%）*	kg（lb）	51,247（112,980）	47,688（105,135）	46,621（102,783）	48,673（107,306）
	メートルトン（トン）	51.2（56.5）	47.7（52.6）	46.6（51.4）	48.7（53.7）
ペイロードを超えないこと（目標の 120%）*	kg（lb）	55,906（123,251）	52,024（114,693）	50,860（112,127）	53,098（117,061）
	メートルトン（トン）	55.9（61.6）	52.0（57.3）	50.9（56.1）	53.1（58.5）

サイドボード（オプション）

高さ		容量追加		質量		最大（110%）マテリアルの密度 **	
155 mm	6.0 in	2.5 m^3	3.4 yd^3	366 kg	806 lb	1,610 kg	3,549 lb

*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。
** 採石ボディ別（90 % のボディ容積充填率）
注記 : 無積載時シャーシ質量（燃料なし）。

積載質量計算 : 定義
無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量
目標積載質量 = 目標の総機械質量 – 無積載時機械運転質量
最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10（110%）

質量 / 積載質量計算 – 米国 EPA Tier 3/EU Stage IIIA または米国 EPA Tier 2/EU Stage II

		デュアルスロープ	
コンフィギュレーション別の機械質量		**ライナなし**	**ライナ**
ベース : フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm（in）	16/10/14（0.62/0.39/0.55）	16/10/14（0.62/0.39/0.55）
ライナ : フロア / サイドウォール / フロントウォール	mm（in）		16/8/8（0.62/0.31/0.31）
ボディ容積	m^3（yd^3）	31.2（40.8）	30.9（40.4）
目標車両総質量	kg（lb）	82,100（181,000）	82,100（181,000）
空のシャーシ質量	kg（lb）	26,852（59,199）	26,852（59,199）
ボディシステム質量	kg（lb）	8,030（17,703）	11,025（24,306）
無積載時機械質量	kg（lb）	34,882（76,902）	37,877（83,505）
燃料タンクサイズ	L（gal）	530（140）	530（140）
燃料タンク – 100% 充填	kg（lb）	445（981）	445（981）
無積載時運転質量	kg（lb）	35,327（77,883）	38,322（84,486）
目標ペイロード（100%）*	kg（lb）	46,773（103,117）	43,778（96,514）
	メートルトン（トン）	46.8（51.6）	43.8（48.3）
最大ペイロード（目標の 110%）*	kg（lb）	51,450（113,429）	48,156（106,166）
	メートルトン（トン）	51.5（56.7）	48.2（53.1）
ペイロードを超えないこと（目標の 120%）*	kg（lb）	56,128（123,741）	52,534（115,817）
	メートルトン（トン）	56.1（61.9）	52.5（57.9）

サイドボード（オプション）

高さ		容量追加		質量		最大（110%）マテリアルの密度 **	
155 mm	6.0 in	2.5 m^3	3.4 yd^3	366 kg	806 lb	1,610 kg	3,549 lb

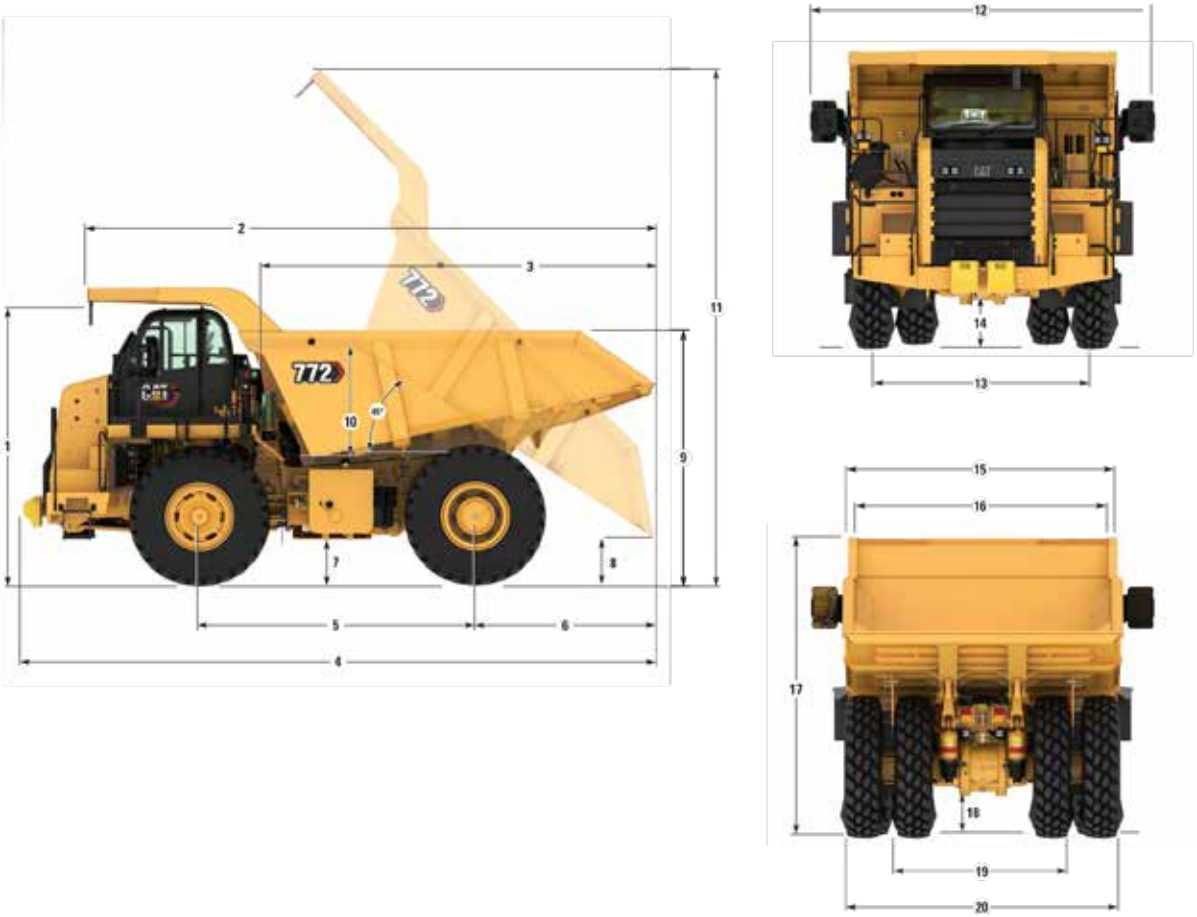
*Caterpillar 10/10/20 の積載質量ポリシーを参照してください。
** 採石ボディ別（90 % のボディ容積充填率）
注記 : 無積載時シャーシ質量（燃料なし）。

積載質量計算 : 定義
無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量
目標積載質量 = 目標の総機械質量 – 無積載時機械運転質量
最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10（110%）

772 ダンプトラック仕様

寸法

寸法はすべてデュアルスロープボディを装着した場合の概算値です。

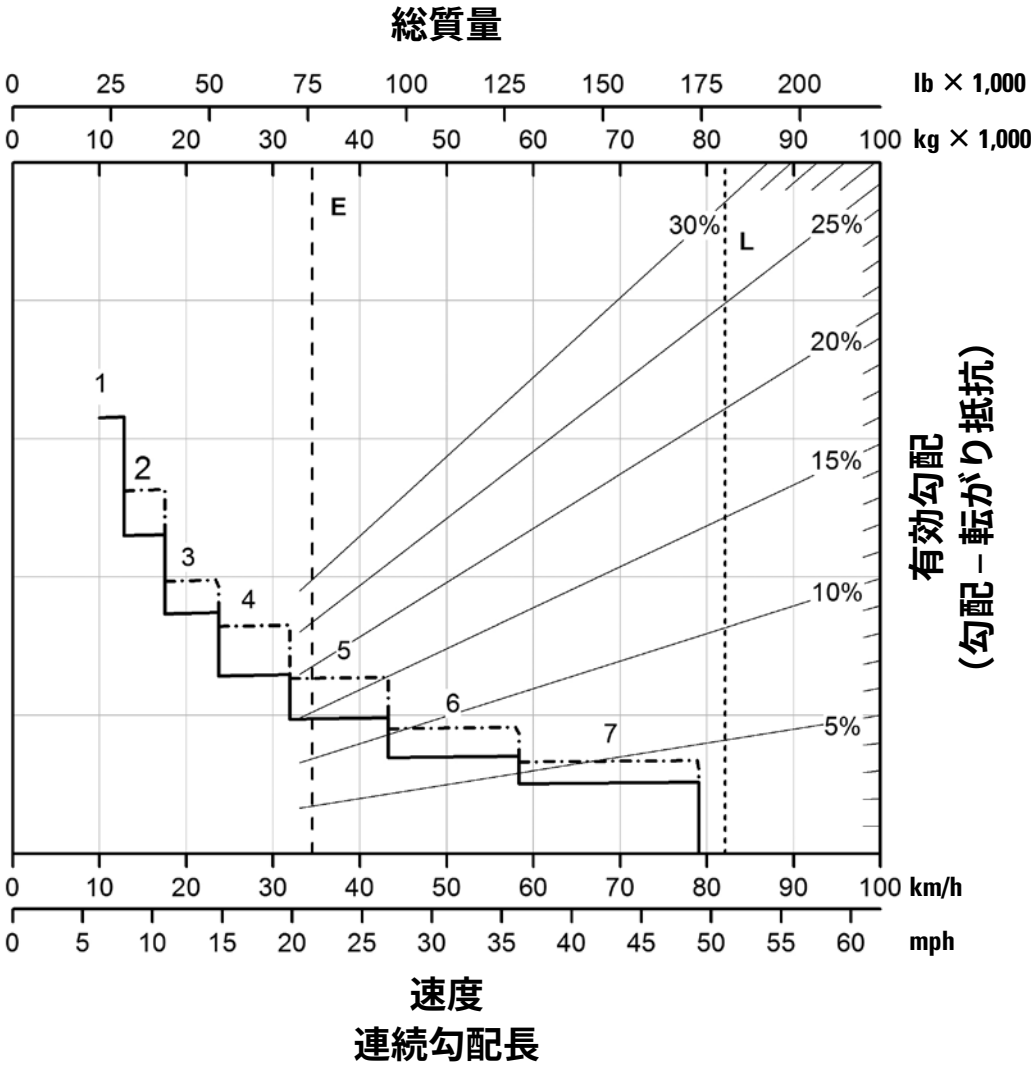


1	ROPS 頂部までの高さ	3,907 mm	12.8 ft
2	ボディ全長	8,164 mm	26.8 ft
3	内側ボディ長さ	5,781 mm	19.0 ft
4	全長	8,808 mm	28.9 ft
5	ホイールベース	3,960 mm	13.0 ft
6	リアアクスルからテールまで	2,598 mm	8.5 ft
7	最低地上高	618 mm	2.0 ft
8	ダンプクリアランス	562 mm	1.8 ft
9	ダンプ高さ – 空荷時	3,570 mm	11.7 ft
10	内側ボディ深さ – 最大	1,747 mm	5.7 ft
11	全高 – ボディを上げた状態	8,257 mm	27.1 ft
12	運転幅	4,780 mm	15.7 ft
13	フロントタイヤ幅の中心線	3,165 mm	10.4 ft
14	エンジンガードクリアランス	618 mm	2.0 ft
15	外側ボディ幅	3,931 mm	12.9 ft
16	ボディ内幅	3,642 mm	11.9 ft
17	フロントキャノピ高さ	4,159 mm	13.6 ft
18	リアアクスルクリアランス	572 mm	1.9 ft
19	センターラインリアデュアルタイヤ幅	2,652 mm	8.7 ft
20	タイヤ全幅	3,927 mm	12.9 ft

リターダ性能 – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V

リターダ性能の確認方法 : すべての下り坂区間の長さを合計し、この合計を使用して、適切なリターダ図を参照してください。総質量から下ろした垂線と有効勾配（%）の交点を読み取ります。有効勾配は、実際の勾配（%）から転がり抵抗 10 kg/t（20 lb/ 米トン）につき 1% を引いたものです。この質量と有効勾配の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大下り速度を確認します。この速度内では、ブレーキは冷却能力を超えることなく適切に作動します。以下の図は、周囲温度 32° C（90° F）、海抜ゼロ地点、21.00R33（E4）タイヤの条件に基づいています。

注記 : 適切なギヤを選択して、エンジンが過回転しない範囲で可能な限り高いレベルにエンジンの rpm を維持してください。
冷却オイルが過熱した場合は、トランスミッションが次に低い速度段にシフトできるように走行速度を下げてください。

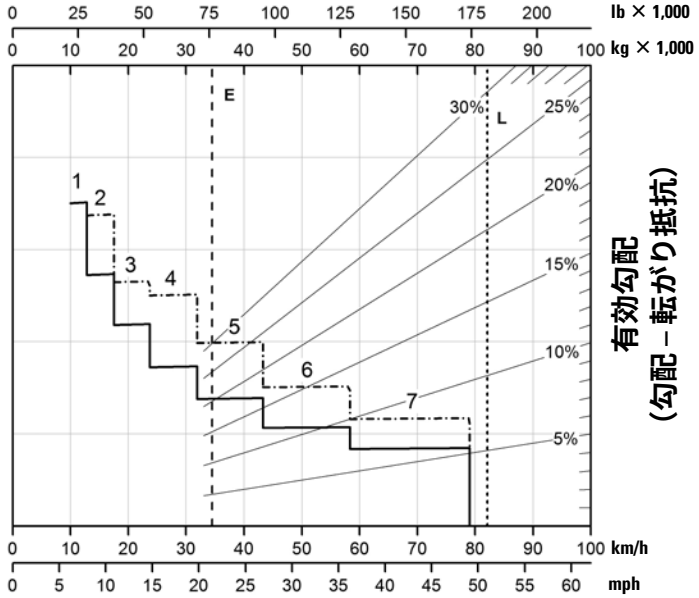


キー	
1	— 1 速ギヤ
2	— 2 速ギヤ
3	— 3 速ギヤ
4	— 4 速ギヤ
5	— 5 速ギヤ
6	— 6 速ギヤ
7	— 7 速ギヤ

キー	
————	ARC のみを使用
-·–·–·–	ARC とエンジンブレーキ
E	– 一般的な実地での無積載時質量
L	– 目標機械総運転質量 82,100 kg（181,000 lb）

リターダ性能 – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V

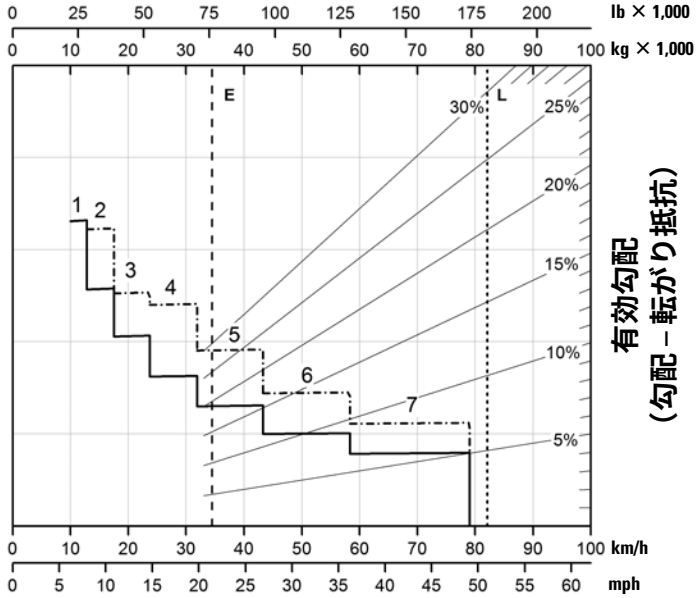
総質量



速度

勾配距離 – 450 m（1,500 ft）

総質量



速度

勾配距離 – 600 m（2,000 ft）

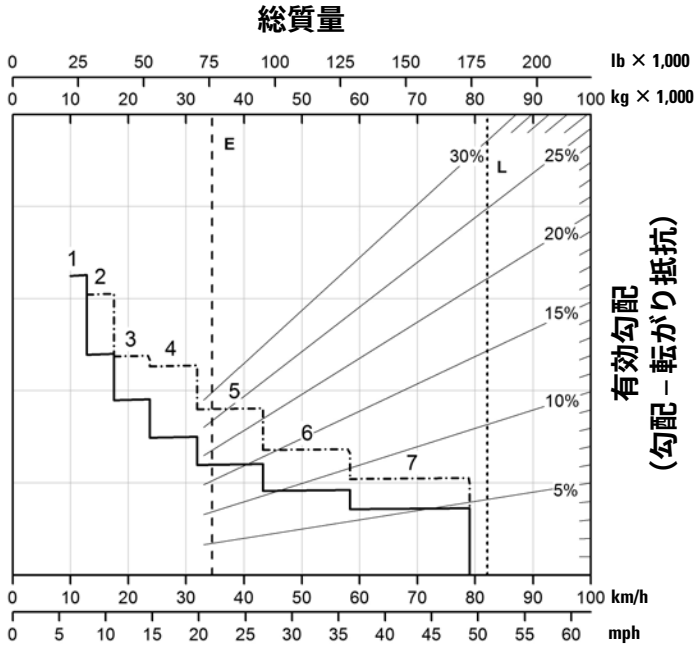
キー

1 — 1 速ギヤ
2 — 2 速ギヤ
3 — 3 速ギヤ
4 — 4 速ギヤ
5 — 5 速ギヤ
6 — 6 速ギヤ
7 — 7 速ギヤ

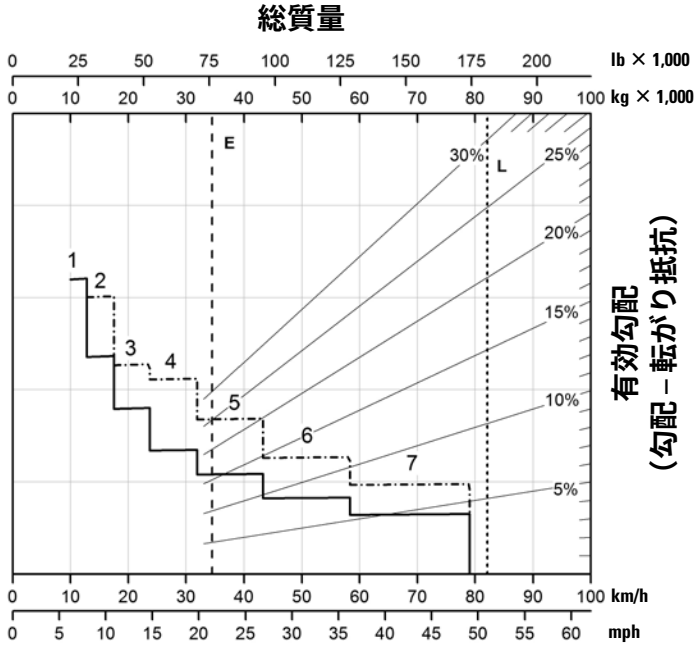
キー

———— ARC のみを使用
-·—·—·— ARC とエンジンブレーキ
E – 一般的な実地での無積載時質量
L – 目標機械総運転質量 82,100 kg（181,000 lb）

リターダ性能 – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V



勾配距離 – 900 m（3,000 ft）



勾配距離 – 1,500 m（5,000 ft）

キー

1 — 1 速ギヤ
2 — 2 速ギヤ
3 — 3 速ギヤ
4 — 4 速ギヤ
5 — 5 速ギヤ
6 — 6 速ギヤ
7 — 7 速ギヤ

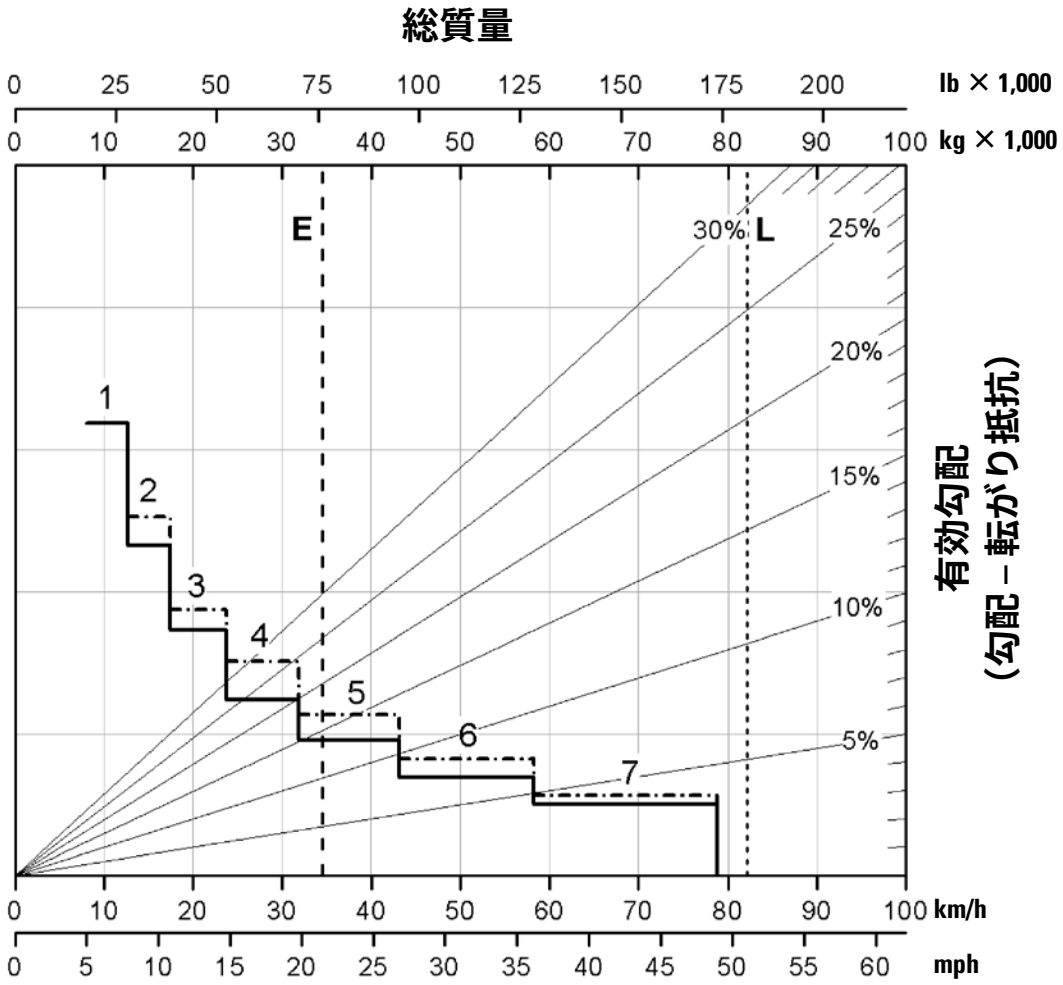
キー

———— ARC のみを使用
-—-—- ARC とエンジンブレーキ
E – 一般的な実地での無積載時質量
L – 目標機械総運転質量 82,100 kg（181,000 lb）

リターダ性能 – 米国 EPA Tier 3/EU Stage IIIA または米国 EPA Tier 2/EU Stage II

リターダ性能の確認方法 : すべての下り坂区間の長さを合計し、この合計を使用して、適切なリターダ図を参照してください。総質量から下ろした垂線と有効勾配（%）の交点を読み取ります。有効勾配は、実際の勾配（%）から転がり抵抗 10 kg/t（20 lb/ 米トン）につき 1% を引いたものです。この質量と有効勾配の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大下り速度を確認します。この速度内では、ブレーキは冷却能力を超えることなく適切に作動します。以下の図は、周囲温度 32° C（90° F）、海抜ゼロ地点、21.00R33（E4）タイヤの条件に基づいています。

注記 : 適切なギヤを選択して、エンジンが過回転しない範囲で可能な限り高いレベルにエンジンの rpm を維持してください。
冷却オイルが過熱した場合は、トランスミッションが次に低い速度段にシフトできるように走行速度を下げてください。



キー

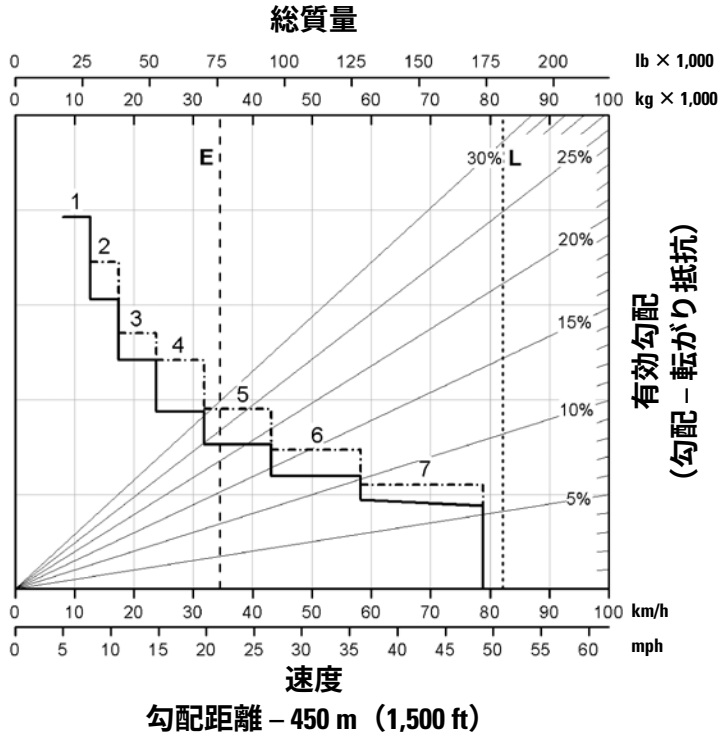
1 — 1 速ギヤ
2 — 2 速ギヤ
3 — 3 速ギヤ
4 — 4 速ギヤ
5 — 5 速ギヤ
6 — 6 速ギヤ
7 — 7 速ギヤ

キー

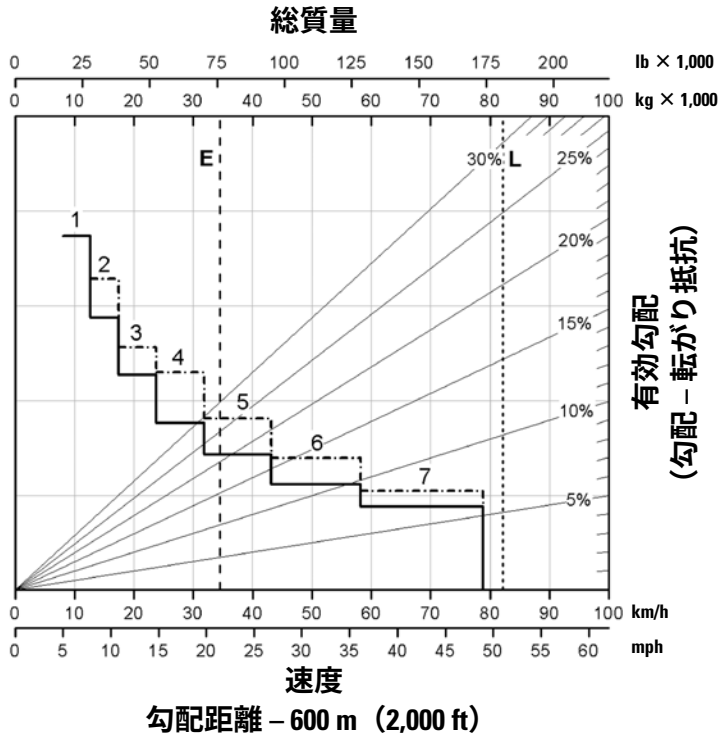
———— ARC のみを使用
-·-·-·- ARC とエンジンブレーキ
E – 一般的な実地での無積載時質量
L – 目標機械総運転質量 82,100 kg（181,000 lb）

* ベトナム仕様の場合、7 速ギヤでの速度は 59 km/h（36.6 mph）に制限されます。

リターダ性能 – 米国 EPA Tier 3/EU Stage IIIA または米国 EPA Tier 2/EU Stage II



勾配距離 – 450 m（1,500 ft）



勾配距離 – 600 m（2,000 ft）

キー

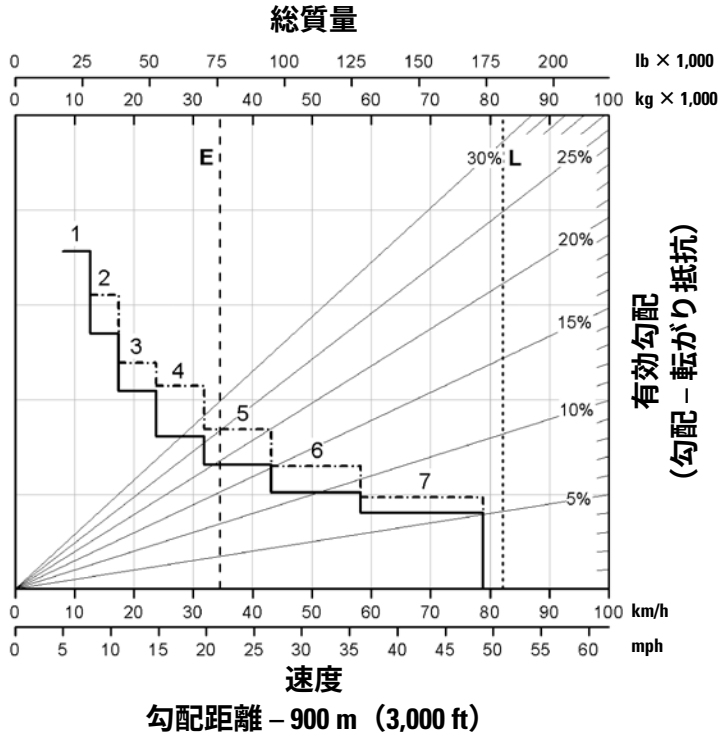
1 —1 速ギヤ
2 —2 速ギヤ
3 —3 速ギヤ
4 —4 速ギヤ
5 —5 速ギヤ
6 —6 速ギヤ
7 —7 速ギヤ

キー

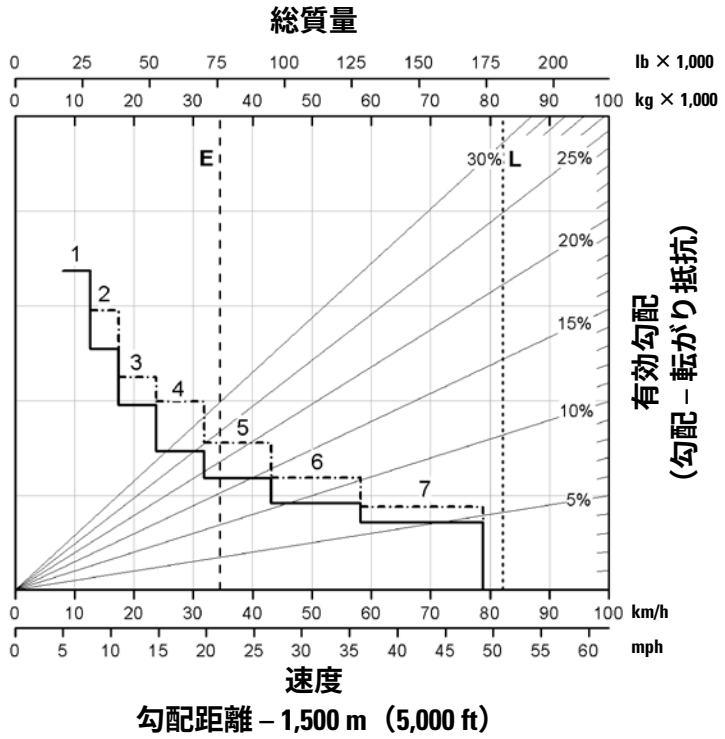
———— ARC のみを使用
- — - — - — ARC とエンジンブレーキ
E – 一般的な実地での無積載時質量
L – 目標機械総運転質量 82,100 kg（181,000 lb）

* ベトナム仕様の場合、7 速ギヤでの速度は 59 km/h（36.6 mph）に制限されます。

リターダ性能 – 米国 EPA Tier 3/EU Stage IIIA または米国 EPA Tier 2/EU Stage II



勾配距離 – 900 m（3,000 ft）



勾配距離 – 1,500 m（5,000 ft）

キー

1 — 1 速ギヤ
2 — 2 速ギヤ
3 — 3 速ギヤ
4 — 4 速ギヤ
5 — 5 速ギヤ
6 — 6 速ギヤ
7 — 7 速ギヤ

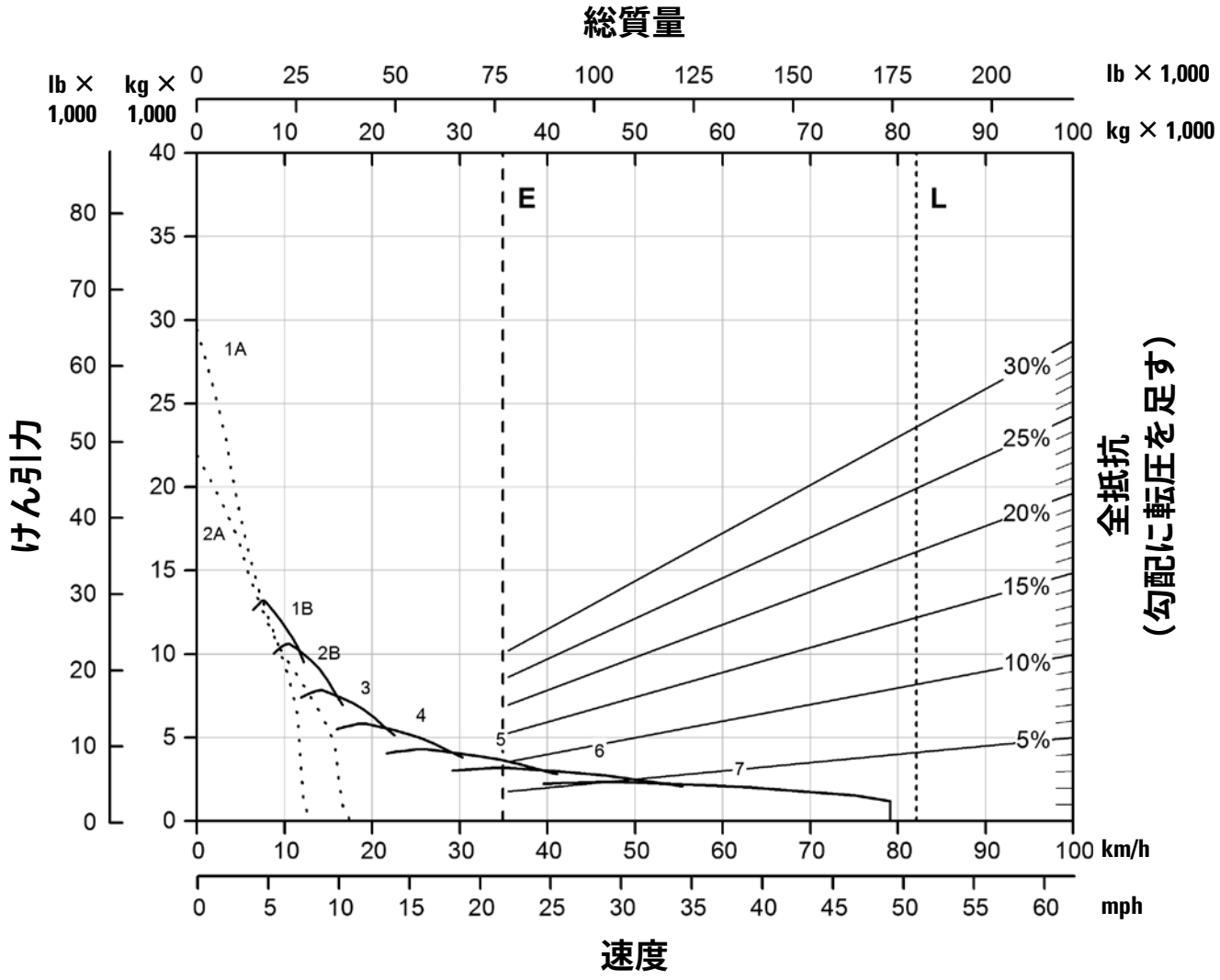
キー

———— ARC のみを使用
- — - — - ARC とエンジンブレーキ
E – 一般的な実地での無積載時質量
L – 目標機械総運転質量 82,100 kg（181,000 lb）

* ベトナム仕様の場合、7 速ギヤでの速度は 59 km/h（36.6 mph）に制限されます。

登坂能力 / 速度 / けん引力 – 米国 EPA Tier 4 Final/EU Stage V

登坂能力を確認するには、総質量から下ろした垂線と全抵抗 (%) の交点を読み取ります。全抵抗は、転がり抵抗 10 kg/t (20 lb/ 米トン) につき 1% を、実際の勾配(%)に足したものです。この質量と抵抗の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大速度を確認します。有効けん引力は、トラクションの程度と駆動ホイールの質量によって異なります。



キー

- 1A — 1 速ギヤ（トルクコンバータ）
- 1B — 1 速ギヤ
- 2A — 2 速ギヤ（トルクコンバータ）
- 2B — 2 速ギヤ
- 3 — 3 速ギヤ
- 4 — 4 速ギヤ
- 5 — 5 速ギヤ
- 6 — 6 速ギヤ
- 7 — 7 速ギヤ

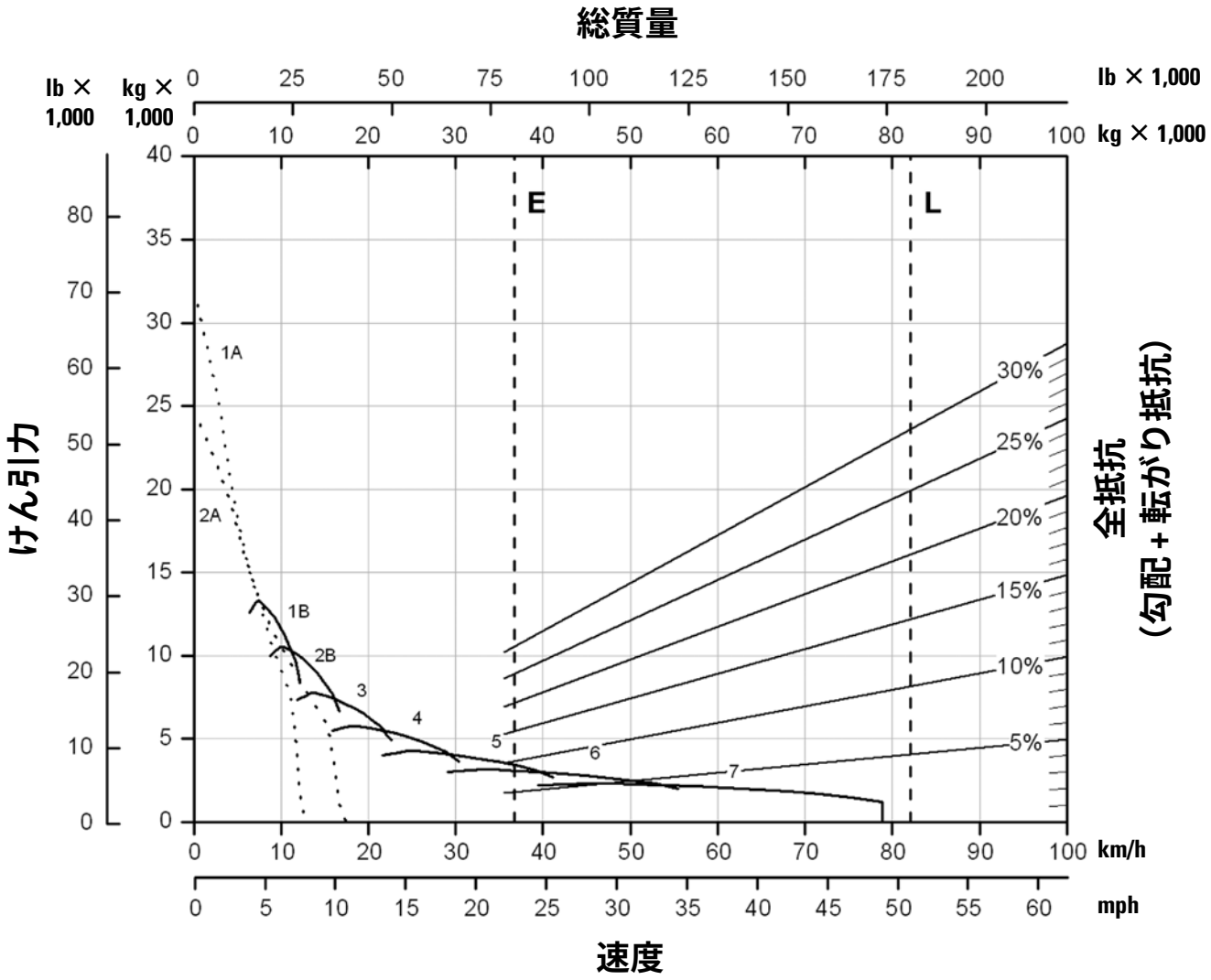
キー

- ———— ARC のみを使用
- - - - - - ARC とエンジンブレーキ
- E – 一般的な実地での無積載時質量
- L – 目標機械総運転質量 82,100 kg（181,000 lb）

772 ダンプトラック仕様

登坂能力 / 速度 / けん引力 – 米国 EPA Tier 3/EU Stage IIIA または米国 EPA Tier 2/EU Stage II

登坂能力を確認するには、総質量から下ろした垂線と全抵抗 (%) の交点を読み取ります。全抵抗は、転がり抵抗 10 kg/t (20 lb/ 米トン) につき 1% を、実際の勾配(%)に足したものです。この質量と抵抗の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大速度を確認します。有効けん引力は、トラクションの程度と駆動ホイールの質量によって異なります。



キー	キー
1A — 1 速ギヤ（トルクコンバータ）	———— ARC のみを使用
1B — 1 速ギヤ	- - - - - - ARC とエンジンブレーキ
2A — 2 速ギヤ（トルクコンバータ）	E – 一般的な実地での無積載時質量
2B — 2 速ギヤ	L – 目標機械総運転質量 82,100 kg（181,000 lb）
3 — 3 速ギヤ	
4 — 4 速ギヤ	
5 — 5 速ギヤ	
6 — 6 速ギヤ	
7 — 7 速ギヤ	

* ベトナム仕様の場合、7 速ギヤでの速度は 59 km/h（36.6 mph）に制限されます。

772 ダンプトラック標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat® ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション
パワートレーン		
エアフィルタ（プレクリーナ付き）（1）	✓	
エアツーエアアフタクーラ（ATAAC、Air-To-Air Aftercooler）	✓	
アルミニウム製ラジエータ	✓	
自動コールドモードアイドルコントロール	✓	
自動ニュートラルアイドル	✓	
自動ストール	✓	
油圧作動式ブレーキシステム : リターダ自動制御（ARC）（オイル冷却式マルチディスクブレーキを使用）、ブレーキ解除モータ（けん引用）、キャリパディスク（フロント）、エクステンデッドライフブレーキ、オイル冷却式マルチディスク（リア）、パーキング、セカンダリ、サービス	✓	
ブレーキ摩耗インジケータ（Tier 4 のみ）	✓	
ブレーキ摩耗インジケータ（Tier 3/2 のみ）		✓
Cat® C18 ディーゼルエンジン	✓	
CAT エンジンブレーキ		✓
電動始動	✓	
オートアイドリングストップ機能	✓	
2 速発進	✓	
ゲージ / インジケータ : サービスインジケータ – 電子式、ブレーキオイル温度ゲージ、冷却水温度ゲージ、アワーメータ、タコメータ、エンジン過回転インジケータ、燃料レベル、スピードメータ（走行距離計付き）、トランスミッションギヤインジケータ	✓	
ターボチャージャ	✓	
電気装備		
後進警報アラーム	✓	
メンテナンスフリーバッテリ（12 V 2 個、190 アンペア時）	✓	
照明システム : 後退灯、方向指示器 / ハザード警告灯（フロントおよびリア LED）、LED ヘッドライト（ディマー付き）、オペレータ乗降用車内灯	✓	
運転席		
アドバイザディスプレイ、ブロンズ	✓	
エアコン	✓	
シガレットライタ	✓	
コートフック	✓	
カップホルダ（4）	✓	
診断コネクタポート（24 V）	✓	
エコノミーモード（標準およびアダプティブ）	✓	
娯楽ラジオ対応 : 5 A コンバータ、スピーカ、アンテナ、ワイヤリングハーネス	✓	
液体レベルモニタリング（Tier 4 のみ）	✓	
液体レベルモニタリング（Tier 3/2 のみ）		✓

	標準	オプション
運転席（続き）		
ゲージ / インジケータ : ブレーキオイル温度ゲージ、冷却水温度ゲージ、アワーメータ、タコメータ、エンジン過回転インジケータ、燃料レベル、スピードメータ（走行距離計付き）、トランスミッションギヤインジケータ	✓	
ヒータ / デフロスタ（11,070 kCal/43,930 BTU）	✓	
指紋認証機能を統合したホイストシフトレバー	✓	
ホーン（電気式）	✓	
ライト : 車内、ドーム	✓	
ライト、ハロゲン		✓
ミラー	✓	
ミラー（ヒータ付き）		✓
電源ソケット（12 V）	✓	
視認パッケージ（WAVS）		✓
転倒時運転者保護構造（ROPS）キャブおよび落下物保護構造（FOPS）キャブ	✓	
シート、フルエアサスペンション、4 点式シートベルト（ショルダハーネス付き）	✓	
シートベルトリマインダシステム : – シートベルトアラート	✓	
トレーナシート（ラップベルト、シートベルトリマインダ付き）	✓	
ステアリングホイール – パッド保護、チルト機能、テレスコープ機能	✓	
収納スペース	✓	
サンバイザ（着色ガラス）	✓	
スロットルロック	✓	
間欠ウインドシールドワイパとウォッシャ	✓	
テクノロジ製品		
Product Link™	✓	
トラクションコントロールシステム（TCS）		✓
Advanced Health	✓	
CAT PAYLOAD（ペイロード）	✓	
CAT Advanced PAYLOAD		✓

（次ページに続く）

772 ダンプトラック標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品（続き）

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション
その他		
ボディ : フラットフロア、採石、デュアルスロープ		✓
ボディヒータ / ダイバータボックス		✓
ボディ下降インジケータ	✓	
ボディ安全ピン（ボディを「上げ」位置に固定）	✓	
ボディサイドボード / ライナ		✓
集中給脂	✓	
クーラントヒータ		✓
エーテル補助		✓
エクステンデッドライフクーラント（-35 °C/-30 °F まで対応）	✓	
油圧式デマンドファン	✓	
燃料ヒータ		✓
燃料タンク（530 L/140 gal）	✓	
ガード、ドライブライン	✓	
ガード、エンジンコンパートメント	✓	
ガード、エンジンクランクケース	✓	
ガード、マッド	✓	

	標準	オプション
その他（続き）		
グラウンドレベルバッテリディスコネクト	✓	
地上からエンジンシャットダウンが可能	✓	
CAT Detect サラウンドビュー	✓	
リザーバ（セパレート型）: ブレーキ / ホイスト、ステアリング、トランスミッション / トルクコンバータ	✓	
リム（15 x 33）	✓	
ロックイジェクタ	✓	
整備用プラットフォーム（左側 / 右側）	✓	
補助ステアリング装置（自動）	✓	
サスペンション、フロントおよびリア	✓	
スペアリム		✓
標準給脂 / 自動給脂		✓
固定用の穴	✓	
けん引用フック、フロント / けん引用ピン、リア	✓	
車輪止め		✓
盗難防止ロック	✓	
キャブエアフィルタ	✓	
タイヤ圧力管理システム（TPMS）		✓
高速充填アダプタ – 燃料		✓
ガード（オーバーヘッド）		✓

772 の環境に関する宣言

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サスティナビリティの実例および当社の進捗状況については、https://www.caterpillar.com/en/company/sustainability をご覧ください。

エンジン

- CAT® C18 エンジンは、米国 EPA Tier 4 Final および EU Stage V 排出ガス基準または米国 EPA Tier 2 相当、または米国 EPA Tier 3 および EU Stage IIIA 相当の基準に適合したコンフィギュレーションで提供されています。
- CAT U.S. EPA Tier 4 および EU Stage V エンジンは、ULSD（硫黄含有量 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料）の使用を必要とし、最大で次の割合の低炭素強度燃料 ** を混合した ULSD に対応しています *。
  - ✓20% のバイオディーゼル FAME（脂肪酸メチルエステル）***
  - ✓ 100% の再生可能ディーゼル、HVO（水素化植物油）、および GTL（ガス液化）燃料
- 米国 EPA Tier 2 相当、または米国 EPA Tier 3 および EU Stage IIIA 相当の排ガス規制に適合している CAT のエンジンには、次の濃度を上限とする低炭素強度燃料 *** が混合されているディーゼル燃料をお使いいただけます *。
  - ✓100% のバイオディーゼル FAME（脂肪酸メチルエステル）****
  - ✓ 100% の再生可能ディーゼル、HVO（水素化植物油）、および GTL（ガス液化）燃料

適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar 推奨の機械油水類』（SEBU6250）を参照してください。

* CAT のエンジンには、上記の代替燃料を使用できますが、規制により使用が認められない場合があります。** 低炭素強度燃料使用時にテールパイプから生じる温室効果ガス排出は、基本的に従来の燃料と同じです。

*** 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100% のバイオディーゼルを使用できます（混合率が 20% を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラにお問い合わせください）。

**** バイオディーゼルの混合レベルが 20% より高い燃料の使用については、Cat ディーラにお問い合わせください。

エアコンシステム

- 当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R1234yf を使用しています。ガスの識別情報については、機械のラベルを参照してください。
  - R1234yf（地球温暖化係数 =0.501）を使用する場合、システムには 1.85 kg（4.1 lb）の冷媒、つまり 0.001 メートルトン（0.001 トン）の CO_2 相当物が含まれます。

騒音に対する性能 – Tier 4 Final/Stage V

オペレータ騒音レベル（ISO 6396:2008）	73 dB（A）
周囲騒音レベル（ISO 6395:2008）	114 dB（A）

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用に ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 80% にして行われました。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用に ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 80% にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。

騒音に対する性能 – Tier 3 および Tier 2 相当

オペレータ騒音レベル（ISO 6396:2008）	75.5 dB（A）
周囲騒音レベル（ISO 6395:2008）	117.5 dB（A）

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用に ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 80% にして行われました。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用に ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 80% にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。

塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm 単位）は次のとおりです。
  - バリウム < 0.01% – クロム < 0.01%
  - カドミウム < 0.01 % – 鉛 < 0.01%

油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CAT ディーゼルエンジン不凍液 / クーラント（DEAC、Diesel Engine Antifreeze/Coolant）および CAT エクステンデッドライフクーラント（ELC、Extended Life Coolant）は、リサイクルできます。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advanced は、EU Ecolabel 認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

機能およびテクノロジ

- 次の機能およびテクノロジは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
  - 標準およびアダプティブの 2 つの燃料エコノミーモードにより燃料消費量を自動的に最適化します。
  - トラックが事前に設定した時間、駐車またはアイドリングした場合に、調整可能なオートアイドリングストップ機能により燃料が節約されます
  - 速度制限により、より燃料効率の良いエンジン回転数とギヤ選択で運搬できます。
  - 作動油フィルタの耐用期間が延長され、交換間隔が 1,000 時間と長寿命になります。

リサイクル

- 機械に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
鋼	77.75%
鉄	11.30%
非鉄金属	2.08%
合金	2.09%
金属および非金属混合物	3.10%
プラスチック	0.79%
ゴム	0.90 %
非金属混合物	0.03%
油水類	0.63%
その他	0.70%
未分類	0.63%
合計	100%

- リサイクル可能率の高い機械により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714（土木建設機械類 – リサイクル可能率および回収可能率 – 用語および計算方法）によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な質量による割合（パーセント単位の質量分率）として定義されます。

  部品表のすべての部品は、まず ISO 16714 および日本 CEMA（Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会）の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

  製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 – 96%



CAT 製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Web サイト（**www.cat.com**）をご覧ください。

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械はオプション装備品を含む場合があります。利用可能なオプションについては、Cat ディーラにお問い合わせください。

©2026 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、VisionLink、それらの各ロゴ、Product Link、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge" および Cat "Modern Hex" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用することはできません。

AJXQ3583-02（09-2026）
AJXQ3583-01 の改訂版ビルド番号 : 07C
(Global)